

かお・人・interview

2025年9月9日

所長

インタビュー



国土交通省 九州地方整備局
八代復興事務所 所長

雪丸 剛氏

YUKIMARU Go

八代復興事務所は、球磨川沿いの両岸約100kmの道路復旧と、球磨川を渡河していた流失橋梁10橋の復旧事業を進めている。また、令和4年9月に発生した台風14号により被災した球磨大橋の橋梁架替事業も担当。被災から5年目を迎え、関係者一丸となって復旧・復興をさらに加速し、事業を推進する。雪丸剛所長に進捗状況や今後の取り組みについて話を聞いた。

Q所長就任にあたっての抱負

八代復興事務所は、令和2年7月豪雨により甚大な被害を受けた河川・道路の災害復旧工事等を迅速かつ一体的に進めるため、令和3年4月に設置された事務所です。

令和2年7月豪雨から5年目の年を迎え、当事務所も設置から5年という節目を迎えました。復興という特別なプロジェクトに従事していることを意識しながら、一日も早い復旧・復興を目指し関係者一丸となって更なる事業の推進を図って参りたいと思います。

本年3月には令和7年度の開通予定箇所について発表させていただいたところであり、まずは確実な実施に努め、目に見える復興を目指します。



▲村道沖鶴線 沖鶴橋完成(令和7年3月)

Q復興・復旧の進捗状況

河川については令和5年5月に9支川の被災箇所140箇所の復旧が完了し、管理者である熊本県へ引渡し完了しています。

道路については令和3年7月に国道219号の人吉側約11kmが一般開放され、今年度中には国道219号の八代側約9kmが一般開放の予定です。主に道路の嵩上げ工事を片側交互通行や対岸道路を迂回路として活用した全面通行止め、JR肥薩線軌道敷の工事用道路としての活用等、地域の皆様にご協力を得ながら早期開通を目指し施工を進めています。

橋梁については流失橋梁10橋のうち令和5年2月に「西瀬橋」、令和7年3月に「沖鶴橋」が完成し、供用しています。残り8橋についても上部工工事に着手済みであり、坂本橋、大瀬橋、松本橋、天狗橋については橋桁の架設は完了、相良橋、鎌瀬橋については上部工架設中、深水橋、神瀬橋については上部工の架設に向けた準備



▲八代市坂本地区・県道坂本人吉線坂本橋被災後(左)、現況(右)

中、球磨大橋については橋脚3基を施工中です。

Q 熊本県や九州地区との関わりについて

就職して最初の勤務地が川辺川工事事務所でした。5年間在籍し、主に付替道路や代替地の工事発注、橋梁や代替地等の設計、景観・デザイン検討に携わりました。熊本県内での勤務はそれ以来になりますが、令和4年には整備局道路工事課において、令和2年7月豪雨で流失した橋梁復旧工事の発注や、令和4年台風14号により被災した球磨大橋の権限代行手続きに従事し、当事務所にも頻繁に通っていたことを思い出します。令和2年7月豪雨時には入省当時慣れ親しんだ町並みや施設、飲食店などが被災し、直後の状況には大変な衝撃を受けました。一日も早い復旧・復興を心から願っています。

その他九州各地での仕事に思い出がありますが、特に長崎の佐世保道路や、福岡の今宿道路などの開通のタイミングに携わったことを思い出します。開通予定日に向けて、施工業者、コンサルタント、占用企業者、地元自治体、職員たちと議論を重ね知恵を絞り、いろいろ工夫しながら苦勞して迎えた開通の日は特に忘れられない思い出です。

Q 当事務所の紹介（事業内容、組織、特徴）

当事務所は、令和2年7月豪雨の災害復旧事業（権限代行）を目的に令和3年4月に設置された事務所です。現在、球磨川沿いの両岸約100kmの道路復旧事業と、球磨川を渡河していた流失橋梁10橋の復旧事業を実施しています。また、令和4年9月に発生し



▲国道219号鎌瀬橋施工状況

た台風14号により被災した球磨大橋の橋梁架替事業（権限代行）についても実施しています。組織構成は、事務所長、副所長（2名）、用地対策官、事業対策官、建設専門官（5名）、総務課、経理課、用地課、工務第一課・二課の5課、総勢35名の職員で構成されています。出向者

も熊本県より3名、八代市より1名在籍しており、自ら地域の復旧・復興のために携わっていただいています。

事務所の特徴として、フリーアドレスや多様な作業環境、コミュニケーションスペース設置など働き方改革にも積極的に取り組んでいます。

Q 今年度の事業概要（簡略）

令和2年7月豪雨による被災箇所については、球磨川沿いの両岸道路嵩上げ工事（擁壁工事、改良工事、舗装工事等）と流失橋梁8橋の復旧工事（上部工架設工事、舗装工事等）を進めており、今年度中には国道219号の八代市側から坂本地区までの約9km間及び主要地方道17号坂本人吉線「坂本橋」、球磨村道松本大坂間線「松本橋」、人吉市道中神大柿線「天狗橋」の3橋の開通を予定しています。

また、本年4月1日にJR肥薩線（八代～人吉間）の鉄道での復旧について熊本県とJR九州において合意したことを踏まえ、工事用道路として利用している軌道敷や隣接する対岸道路の復旧方法など熊本県、関係自治体、JR、八代河川国道事務所等と協議しながら設計を進めて参ります。

令和4年台風14号により被災した球磨大橋について



▲県道覚井一武線球磨大橋施工状況

は下部工工事の推進、上部工工事の発注を予定しています。

Q地域建設業への要望・メッセージ

まず、日頃から事業の執行にあたり、事業進捗を見据えた工程管理や厳しい現場条件のなか設計や工事を進めていただいていることについて心から感謝を申し上げます。復興という特別なプロジェクトの達成に向けて一緒に事業を進めていくパートナーとしてお互いの信頼関係が最も大切だと思いますので、しっかりと意見を交わしながら同じ気持ちで目標に向かって事業を進めていけるよう取り組んでいきたいと思っています。

工事、業務の発注にあたり、着実な復興を進めるためにも、計画的な発注、契約を行うことが重要であり、発注時期や内容等について協会の皆様の意見を伺いながら適切に進めて参りたいと思っています。

また、建設業の担い手確保の観点でも、建設業界に限らず、地域の皆様や学生などを対象とした現場見学会を企画するなどフィールドの有効な活用に協力していければと思います。

Q趣味や健康法、座右の銘について

スポーツ観戦が好きで、プロに限らず、高校生の大会などもよく観戦に赴きます。種目も、野球、サッカー、陸上、ラグビーや剣道、大相撲など多種に渡り観戦を楽しんできました。最近は現地の観戦に加え、全国各地での試合がネットで観戦できる環境も整ってきており、多いときには3種目同時観戦など楽しんでいます。体を動かすことは元々好きな方ですので、職場の野球部の練習にもできるだけ参加するようにしています。

座右の銘ではありませんが、仕事を進めるにあたっては、スケジュール感を意識し、先のその先を見据えな



▲道路かさ上げ工事施工状況(坂本地区)

がら広い視野で仕事を視ることと、課題等に対して早期に共有しみんなで議論しながら対応することを心がけています。

職員には仕事で達成感を感じるチャンスが目の前に多くある事務所なので、できるだけそういう思いが感じられるよう寄り添っていきたくて考えています。

プロフィール



鹿児島県出身、51歳
H 6年4月 建設省九州地方建設局 入省
(川辺川工事事務所)
H24年4月 道路部 道路計画第一課 係長
H28年4月 福岡国道事務所 建設監督官
H31年4月 長崎河川国道事務所 調査第二課長
R 4年4月 道路部 道路工事課 課長補佐

R5年4月 国土交通省 国土政策局 広域地方政策課 専門調査官
R7年4月 現職